



味・美・楽Shop

イタリア料理 Giuda Ballerino! ジューダ・バレリーノ! ローマの「母の味」が大評判 伝統重視の味わいが逆に「新鮮」



今年9月にオープンしたばかりにもかかわらず、「伝統的なローマ料理を味わえる」と既に大評判、ランチは常に満席という人気を誇っているのが「ジューダ・バレリーノ!」です。
イタリア料理店は数あるものの、当店のメニューを見てみると、聞いたことのない料理名がズラリ。オーナー

シェフは実際にローマで修業した事があり、その時「日本では知られていないマンマの味(郷土料理)」を日本に広めたい、と思ったのが始まりだそうです。
「伝統のローマの味そのままを、再現し提供することが逆に新鮮だ、と喜んでいただいています」
お客様の反応は「この場所でこんな本格的なローマ料理が味わえるなんて!」という驚きの声が続くのだとか。とくに前菜がお店のセールスポイント。品数も多く見た目も鮮やかなお皿を見るやいなや、歓声を上げられるお客様も少なくないとか。
手打ちにこだわったパスタ、南大阪地産のお野菜もふんだんに使い、アッサリながらも物足りなくない味付け。素朴だけれど、素材の味を活かす「異国の郷土料理」の風味を貫きつづ、「日本風」の選択技も作り、幅広いお客様に対応する心遣いも嬉しいところです。
さらに、隣に位置するスイーツ店「ブティドゥ・ベッシー



大迫力の前菜盛り合わせ(ディナー限定)。これで1,980円はお得! カボチャのアクロドルチェ、古典的田舎風デリズ、タマネギのキッシュ、トリッロマーネ、じゃがいものスフレ、マト、人参のパンコッタ仕立て、極低温焼肉と「パルマ産牛ハム、フロコラーのアンチョビソース、白身魚のムース、水牛のモッツアレラのカプレーゼ



大阪狭山市駅 至南波 至河内長野 狭山池 東北大阪線 南海高野線 久野高野駅 久野高野2丁目 駅から1分とローケーションも抜群、女性一人でも気楽に入りやすい可愛い外装

- 最寄駅: 南海高野線大阪狭山市駅より東へ徒歩1分
- 住所: 大阪狭山市金剛2-13-23
- Tel: 072-365-8566
- 営業時間: 11:30~14:00(ランチタイム) 14:00~17:00(カフェタイム) 18:00~21:30(ディナータイム)
- 定休日: 不定休 ●駐車場: 4台(関西アーバン銀行北隣)
- その他: HP http://www.giuda-ballerino-osaka.com

「さをりの森」で 世界で一つだけのマフラーを!

河内長野 Day Trip

和泉市の主婦の城みさをさんが1969年に考案したアート感覚の手織り「さをり」。さをりの森は、「人と自然をみつめる織り空間」をテーマに、世界中に広がるこの手織りを手軽に体験できるよう開設された体験型施設です。
館内では何百色もある糸の中から材質や色の異なるものをインスピレーションで選び、専用の手織り機でマフラーやランチョンマットなど好みの作品を織りあげることができます。初めて訪れた人は10分程度説明を受けて始めますが、万一手順を間違っても大丈夫。「さをり」は布を織るのではなく自分を織るもの。むしろ機械織りではできない糸の飛びや突起も作品の味わいになるのです」と、スタッフの城直人さん。この「お気楽クラス」は予約不要で時間も無制限。料金は基本料金の1,000円+材料費として1g15円の糸代のみ。ちなみに初心者でもマフラーなら2~3時間で織り上がり、糸代は1,500~2,000円ほど。
館内では、現役99歳のみさをさんとも直々に指導に当たっています。12月24日のクリスマスイブにはオールナイトで館内を開放する恒例イベント「織~るナイト」が開催されます。

●和泉市堂堂町613-1
Tel: 0725-57-7022 開館時間9:30~17:30(年末年始12月28日~1月4日は休館)
※泉北高速鉄道「光明池」下車徒歩約15分。南海バスで河内長野駅前約40分「変電所前」下車徒歩5分

第6回「全国親子クッキングコンテスト」

河内長野地区大会を開催

去る、10月14日(日)に河内長野ガス料理教室において全国親子クッキングコンテスト河内長野地区大会を開催致しました。多数の応募者の中から書類審査を経て、6組12名様に実技審査を行いました。皆様、すばらしい親子のチームワークでお料理を楽しんでおられました。
見事優勝されたのは井口恭子さん、秀花さん(川上小学校5年)親子。12月2日(日)に行われる近畿地区決勝大会(会場:大阪ガス総合ショールーム「ティリバ」(千里万博記念公園内))に出場されます。多数のご応募を頂きありがとうございます。

【プレゼント・読者企画のご応募先】 ●ハガキ 〒586-0025 大阪府河内長野市昭栄町14-32 株式会社リビングセンター長野 ●ファックス 0721-53-8775 ※FAX番号はお間違いのないようお願い致します。

千代田台・Yさんからの質問 Q 市内のど真ん中にある年中販売の花火店さん。冬でも売れるの? A みなみかわち・なんでも調査隊 ~あなたのナビにお答えします!~

河内長野警察署の近くにある大谷花火店を訪ねました。奥様によれば「もともとスダレの製造をしていた先代が、昭和55年頃頃から材料の茅(かや)で花火の軸を製造するようになったのが始まりです。その後、花火の卸しを始めました。現在製造部門は花火と雑貨の小売をしています」とのこと。店頭では夏場なら300種類以上、シーズンオフでも100種類以上の花火が並び、花火は5円~3,000円。他府県から訪れるお客さんも少なくないとか。「多くはありませんがキャンプやスキー場で使うと言われる必要は年中ありますね。手持ち花火ではバナナやチョコの香りがするものや、長時間楽しめる花火などが人気です。メロディが流れて食卓で使えるパステイ花火は年間を通じてヒットしています。同じシリーズでクリスマス花火もあります」。



大谷花火店 河内長野市西之山町2-1 Tel: 0721-53-6925 冬季営業時間 10:00~18:00(冬季は不定休)

「きずな(絆)コンサート2012 inかわちなが」のご報告とお礼

多くの市民の皆様、事業所の皆様のご支援・ご協力を頂き、「きずなコンサート2012 inかわちなが」を実現することができました。若手大槌町の町立大槌中学校吹奏楽部の生徒36名と校長先生はじめ7名の関係者を8月6日から8月9日まで河内長野市に迎え、市内の中・高校生との交流、市および100名を超える市民の皆様への歓迎、5中高校・1グループの共演を頂き、ラブラリーホールで「きずなコンサート」を開催できました。大槌中学校吹奏楽部の素晴らしいメロディーと生徒たちの演奏した姿に、私たちが気づけられ、大槌町を通じて被災への思いを多くの市民の皆様と共に共有することができました。心よりお礼申し上げます。今後もこの思いを忘れることなく、市民の皆様と共に歩んでゆく所存です。大槌町を支援する河内長野市市民会 会長 石倉 保彦

Fresh people フレッシュビープル

ポートレートに筆を加えることで印象派の絵画のようなタッチと重厚感を醸し出す「ローレフォト」。

眞貝真知子さんは、そんな新しい写真手法を考案した大阪狭山市在住の写真家です。依頼人に寄り添い「お客様と一緒にじっくり上げていく」作品は、より深くその人の個性や魅力を映し出し、誰よりも自分自身を輝かせてくれると人気を集めています。

「いい表情で写っている写真は、自分に自信や希望を与えてくれます。私が撮りたいのはそんな写真。引出しにしまう記念写真ではなく、手元に飾って毎日見たくなる写真です」。

眞貝さん。実は、家業が写真館という環境に生まれ育ちながらも、すっかり写真の道に進んだわけではなく、卒業後、企業で事務員として働いたことがきっかけだった。写真に「でも、大きな組織で働いてみて初めて気付いたんです。本当は私も父のように、すぐ隣にいる誰かを喜ばせる仕事をしたかったんだ」と。

「内面を映し出すような写真を撮るのって、なかなか難しい。新しい視点や構図を撮りたい。向かって試行錯誤を繰り返して、目を付けたのが大学時代に身に付けたカウンセリングでした」。

「お客様と撮影前にじっくりお話をするんです。どんな写真にしたいか、趣味、好きなもの。楽しいことだけでなく人生や悩みについても。すると、お客様の表情がどんどん明るくなっていくんです。また、カメラ技術の向上で誰もが簡単にいい写真を撮ることができるようになりました」。

眞貝さん、写真館を営むようになってから、新しいことに挑戦したいという思いが強くなった。12月11日に「ローレフォト」を正式に発表する。



プロフィール
眞貝 真知子(とらがいがい・まちこ)さん
1980年大阪狭山市生まれ。関西学院大学文学部卒業。会社員を経て、写真専門学校、カリフォルニア州ブルックス写真大学で研修。2006年同市で写真スタジオ「アトリエロコ」を開業。同じく写真家のご主人と2人暮らし。関西各地で展覧を開催。



「母妻、娘、友達…一人の女性にもいろんな顔がありますね。その役割を突き詰めて、もっと深くその人の個性を表現できたら」と。

「写真を撮るというよりも、舞台を用意して待つている。お客様に寄り添ってその魅力を引き出すという感じがですね。お客さんと一緒に作品をつくり上げていきたいんです」。

「いろいろうんな方に人生に寄り添えるこの仕事は本当に楽しい」と、眞貝さん。

「妹の恋人」 「ギルバート・グレイブ」

社員からのお勧め情報

「パイレーツ・オブ・カリビアン」シリーズで有名なジョニー・デップ。彼の初期作品を2つご紹介いたします。1作目は、「妹の恋人」。舞台はアメリカの田舎町、事故で両親を亡くしたことで精神障害となった妹ジューンと、親代わりとなって支える兄ベニー、そこへ風変りな青年サム(ジョニー・デップ)が登場し、ひよんなことからその兄妹宅で同居すること…若きジョニー・デップの個性光る演技が秀逸、パンのダンス(観ないで分かりません!)やパントマイムは観る価値ありです。大きな感動はなくても、観る者をホッとさせる心温まるラストシーンに仕上がっています。2作目は、「ギルバート・グレイブ」。この作品はご存知の方も多いのでは?アメリカの田舎町の一つの家族に焦点を当て、日常の些細な出来事を通して、無情な社会、親子兄弟の愛が描かれた作品です。主人公ギルバート(ジョニー・デップ)をはじめ、レオナルド・ディカプリオが発達障害のある弟役アーニーを演じています。彼の、思わず唸ってしまうほどの演技はスターの片鱗がうかがい知ることが出来ます。若かりしハリウッド・スターの作品、皆さんも一度ご覧になってみてはいかがでしょうか。

ホンモノはどれ?

正解の方から抽選で図書カード(2000円)を5名の方にプレゼントします。

応募方法
ホンモノの答え、住所、氏名、電話番号、年齢、職業、本誌の感想・要望などを明記の上、欄外の宛先「ホンモノはどれ?」係へハガキ、またはファックスでご応募ください。
※12月末日締切 消印有効。
※当選発表は発送をもってかえさせていただきます。
(No.249の正解は①でした)